



「恐竜を描こう」  
入賞者のご紹介

(敬称略)

子どもたちに恐竜への興味や関心を持ってもらうため、わくわく体験学習の一環として、恐竜絵画コンクール「恐竜を描こう」を実施しています。今年で4回目となる「恐竜を描こう」には、市内外から891点の応募がありました。なお、入賞者は次のとおりです(市内入賞者のみ掲載)。



金賞 山下陽生さんの作品  
「1km先に肉発見」

金賞 笠松光稀さんの作品  
「もしきょうりゅうがうちゅうにいたら…」

- 金賞▼島田拓磨(鹿谷保4歳)  
岩泉芽衣(北保5歳) 浅井瑞貴(野向小1) 笠松光稀(北郷小2) 沼田悠伸(成器西小3) 内田捺希(成器西小4) 山田和佳奈(村岡小5) 山下陽生(荒土小6)
- 銀賞▼本田豪希(しろき保4歳) 中道穂来(鹿谷保4歳) 南部清花(北保5歳) 原琉亜(中央保5歳) 宇佐見滯(野向小1) 仲谷有生(北郷小1) 伊東芽依、阿部佑紀(成器南小2) 谷口楽、今井笑梨(成器西小3) 山田瞭斗(成器西小4) 川崎いのり(村岡小4) 木戸口真彩(村岡小5) 小林正太(村岡小6)

- 銅賞▼宇佐美潤(鹿谷保4歳) 木下惺渚(野向保4歳) 牧野樹(南保4歳) 阿部大翔(鹿谷保5歳) 石川颯馬(北郷わしのこ保5歳) 竹内美結、深見祐太(平泉寺保5歳) 乾響王、久保龍誠(北郷小1) 廣瀬弥羽、松田夕佳(成器南小2) 古川心温(成器西小2) 斉藤遙奈(三室小2) 山田浩仁(成器西小3) 増永緒美(荒土小3) 石田真央(鹿谷小3) 田中那侑、近藤佑華梨(北郷小4) 林秀大(村岡小4) 小寺夏朝霧、竹原功貴、山形史音(村岡小5) 久保風斗(鹿谷小6) 片山奈津希、落合秀登(村岡小6)
- 佳作▼多田恵美夏(平泉寺保4歳) 林優成(しろき保4歳) 瀧本希美(野向保4歳) 桐嶋皇裕、松井那音(野向保5歳) 中村日夏里(成器南小1) 棚田望央(野向小1) 川村華穂(北郷小1) 笠松青夏、山口龍希(北郷小2) 白木凱弥(成器西小3) 森七瀬(成器西小4) 櫻井涼多、春木捷吾(村岡小5) 小林千純、玉木彩羽(村岡小6)

歴史の散歩道 (145)

合月村



写真2 再建された石堂

現在の野向町域に「合月村」があった。この村があった場所は、薬師神谷の小字「堂の前」「袖合月」の辺りから滝波川北岸にかけて東に細長く広がっている地域であると言われ、「柳平」「上赤谷」までのほぼ三〇の小字が含まれる。

ここは、古来より開拓された七町歩(七ヘクタール)の農地と付近に山林を控えた台地があったと言われている。ここには先述の「堂の前」に石観音堂があり、「間数少之石堂、合月新田之内二御座候」と記される(宝暦九年(一七五九)村明細帳) 薬師神谷高田政右衛門文書)。近年、石堂が破損したため、新しい石堂(写真2参照)に安置している。御神体は、身の丈四〇センチメートルの観音像で、蓮台の上に座している。薬師神谷区の伝承では、この石観音は当初一寸八分の黄金の観音像であったと言われている。

この合月村は、「正保郷帳(一六四



写真1 石観音像(光背があり、蓮台の上に鎮座して両手に水瓶を持つ)

六)には「合月村 三石」とあり、「村」として記されている。したがって、人家があり、小さな村としての実態があったと考えられ、石堂(村の神社)の存在は、小さな村の存在を示している。しかし、貞享年間(一六八四〜一八)には、すでに村としての実体はなかったようである。

なお「合月村」は、江戸時代初期に松平大和守(当時の勝山領主松平直基一六二四〜三五)が薬師神社社領として寄進されたという。

『越前国名蹟考』では、「高三石 薬師神社除地 合月村」とあり、「貞享の図に人家これ無し、薬師神谷村これを耕す」とある。除地とは、税を免除された土地のことである。

合月村の住民は、早くからいなくなつたようである。村の語源は「多数の人が群がり住んでいる所」の意味であり、合月村にも住民が存在したはずである。これを裏書きするように、ここには屋敷跡の石垣や笥の跡が今なお見られるという。なお、小字「糸屋敷」「堂の前」や石観音の存在は、住民が存在したことをうかがわせるものである。村の伝承でも、ここにはかつて居住していた数軒の家があり、後に薬師神谷村に移ってきたという。

文化財保護委員 増田公輔

勝山南高校 閉校プロジェクト  
「紡(つむぎ)」展開中!

来年の3月で閉校となる勝山南高校では、閉校プロジェクト「紡(つむぎ)」を展開しています。同プロジェクトの一環として、10月31日(水)に全校生徒約60人が元祿線および大連寺川の清掃を行いました。



大連寺川の清掃の様子

勝山市交通指導員2名が  
福井県知事表彰を受賞!

10月23日(火)、福井市内で開催された「第30回福井県交通安全県民大会」において、勝山市交通指導員の四谷昌則さんと上山利幸さんが「平成24年度交通安全功労者等表彰 福井県知事表彰 交通安全功労者」を受賞されました。



表彰状を受け取る四谷昌則さん

おすすめ図書

こども図書

「だじゃれ どうぶつ図鑑」  
藪内 正幸/原案・絵 偕成社

動物画家の藪内正幸が動物の名前や生態から考えた「だじゃれどうぶつ」絵本。実際に存在する動物たちの絵と並べて紹介。動物と人間との関係、文化や歴史、名前のもつ意味やことばのおもしろさなどが分かる解説つき。

中高生図書

「幕が上がる」  
平田 オリザ/著 講談社

高校演劇部最後の1年を迎えようとしていたさおり。目指すは地区大会突破。そんなとき、新しく学校にやって来た先生が言った。「行こうよ、全国!」 男子よりも、勉強よりも大切な日々が幕を開ける…。文化系青春小説。

一般図書

「生涯現役の 知的生活術」  
小野田 寛郎/共著 育鵬社

老年夫婦の和やかな関係の秘訣、頭脳を活性化し続ける暗記のすすめ、真向法、断食、気功、自然食、人の話の聞き方、豊かな発想法…。戦前、戦後、平成の時代を生き抜いてきた13人の著者による、とっておきの知恵が満載。

郷土図書

「改訂 勝山藩校成器堂」  
増田 公輔/著

勝山市文化財保護委員会委員である著者が自費出版した。江戸末期に藩政改革を目的に設けられた藩校の歴史が描かれている。また、成器堂開設の背景や教育内容、教授陣などについても詳しく解説されている。勝山の学問・文化の基礎を知る貴重な1冊。

「勤労青年学校 勝山女子高等学院 ~その偉い校史を たどる~」  
山田 雄造/著

勝山市市史編さん室の嘱託職員である著者が自費出版した。学院は、勝山に集団就職して産業を支えた女性たちの公立学校。その設立から閉校までの変遷をたどる。学生の作文やアンケートも紹介されている。

年末年始の休館

12月29日(土)~1月3日(木)は休館します。

CD・DVD等は破損しやすいため、返却ポストではなく、必ずカウンターへお返しください。

問 市立図書館 ☎88-6000

Web <http://tosyokan.city.katsuyama.fukui.jp/>